

【報告】「令和2年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興功労者表彰」について

日時 令和3年(2021年) 3月10日(金) 11:00~11:20
場所 滋賀県公館 (大津市京町四丁目2-15)

氏名 (ふりがな)	主な功績・取組内容
駒田 勤 (こまだ つとむ)	高島織物工業協同組合の常務理事を平成21年から4年、その後理事長を6年歴任されました。現在も理事として在職中です。同組合執行部として地域団体商標「高島ちぢみ」を平成24年に、商標「颯布(はんぷ)」「(高島帆布)を平成25年にそれぞれ登録するためにご尽力されました。登録後、ラベルやタグなどを作製しブランド認知度の向上に貢献されました。また「海外販路開拓プロジェクト」を同組合で開始し、東南アジアを中心にプロモーション活動も展開されました。これらの取組によって、高島綿織物産地の需要拡大に貢献されています。
大橋 富美夫 (おおはし とみお)	平成16年に近江上布伝統工芸士となられ 麻織物工業協同組合の理事就任後に就業体験を提唱し、地元小中学校を対象とした体験活動を実施され自らも学校での出前授業にも取り込まれました。また、職人養成の事業「おりびとプロジェクト」の発足に尽力され、これまでに12名の修了者のうち11名が現在も産地内で伝統工芸士を目指しております。これらの取組によって、近江上布を始めとする湖東麻織物産地の担い手人材の確保、後継者育成、技術等の伝承に貢献されています。

【表彰状を授与】



【副賞を贈呈】



【知事との歓談】



【記者取材】

